

令和5年度 事業計画書

特定非営利活動法人 全国ストップ・ザ・ロコモ協議会

1 事業実施の方針

令和5年度も、令和4年度と同様に運動器症候群（以下「ロコモ」という。）の医学的知識及び臨床経験に基づき、ITを活用して、一般国民及び全国自治体等へのロコモの広報・普及啓発活動を行う。

また、SLOC ホームページをさらに充実させ、SLOC の活動状況やロコモ新知見を全国に発信する。

継続事業として、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、①市民公開講座（ロコモキャラバン）、②子どもロコモの啓発予防活動、③ロコモコーディネーター資格取得研修会を実施する。

上記3事業の実施とともに、第31回日本医学会総会博覧会会場では、ロコモ・フレイル及び子どもロコモ予防啓発の展示ブースを出展し、4つのステージを企画・運営する。

また、第36回日本臨床整形外科学会学術集会では、「子ども時代からのロコモ・フレイル対策」をテーマにシンポジウムを実施する。

ウィズ・コロナにおける運動の重要性の広報、他のロコモ・フレイル関連団体との連携強化のための事業等も展開する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【 31,303 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ロコモに関する普及広報事業	【市民公開講座の実施】 各都道府県における「骨と関節の日」の行事の一環として、年1回、全国各地で開催することとし、令和5年度は、福井県にて開催する。 これに加えて、専門分野の異なる講師を招いて、診療科の枠を超えた市民公開講座を開催する。 ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期等の変更する場合もある。	令和5年10月頃 令和5年度中	福井県 東京	60人 60人	一般市民 一般市民	200人 200人	3,497
	【日本医学会総会博覧会での展示・ステージの実施】 本法人企画の子どもロコモ及びロコモ・フレイル予防展示ブースを出展する。 さらに、博覧会会場の特設ステージでは子どもロコモ、ロコモ・フレイルのステージ企画に加え、増田明美さんの「歩いてロコモ予防」SAMさんの「ダンスでロコモ予防」というスペシャルステージも実施する。 また、ロコモ・フレイルステージは動画収録し、ロコモ認知度向上のため、YouTubeで公開する。	令和5年4月15日～令和5年4月23日 YouTube 令和5年7月頃～	丸の内ビル1階 「マルキューブ」	100人	一般市民	1,500人 YouTube 不特定多数	8,029

【第36回日本臨床整形外科学会学術集会のシンポジウム企画】 日本臨床整形外科学会SLOC連携委員会を通じて「子ども時代からのロコモ・フレイル対策」をテーマにシンポジウムを実施する。	令和5年7月16日 (予定)	幕張メッセ国際会議場	8人	整形外科 医師・医療 関係職	1,200人	450
【子どもロコモの予防啓発活動】 全国の整形外科・小児科等の医療機関にて協賛企業を通じて「子どもロコモ読本」をストックし、保護者や学校・教育委員会等に配布する。	随時	全国の整形外科等 医療機関	10人	保護者・学校・教育委員会等	30,000人	10
【ロコモと認知症の予防啓発活動】 全国の整形外科等の医療機関にて協賛企業を通じて「ロコモと認知症」冊子をストックし、一般市民に配布する。	随時	全国の整形外科等 医療機関	10人	一般市民	30,000人	10
【コロナ自粛生活のロコモ予防啓発活動】 新型コロナウイルス感染症により自宅等での自粛生活による「コロナロコモ」予防のための運動の重要性を全国各地のメディアに広報する。	随時	法人事務所	20人	一般市民	不特定多数	10
【ホームページの管理・運営】 ホームページにて、ロコモの医学的知識と臨床経験に基づいたロコモの広報・普及啓発活動を一般市民向けに行う。ホームページをより充実させ、Facebookも活用してさらなる情報提供の迅速化及びアクセス数の増大をはかる。	随時	法人事務所	20人	一般市民	不特定多数	305
【行政への啓発・普及】 ホームページ等にて全国の自治体・教育委員会にロコモや子どもロコモの医学的知識と臨床経験に基づく広報・啓発活動を行う。	随時	法人事務所	20人	全国の自治体・教育委員会	不特定多数	0
【健康相談の実施】 インターネットを利用して、ロコモに関して医学的知識及び臨床経験のある医師が健康相談を行う。	随時	ホームページ上	10人	一般市民	月間30人	0
【ロコモ講演会等への講師派遣】 行政や医師会等から依頼があった場合、可能な限り講師派遣を行う。	随時	適所	10人	一般市民、 医療従事者等	100人	100

	<p>【ロコモ広報物の制作】 一般市民及び医師向けのリーフレット、ステッカー、クリアファイル等の広報物を制作し、ロコモ予防の啓発に活用する。</p>	随時	適所	5人	一般市民、医療従事者等	不特定多数	300
ロコモに関する教育研修事業	<p>【ロコモコーディネーター資格取得研修会の実施】 ロコモに関する医学的知識及び臨床経験のある医師を講師として、ロコモに関する医療従事者（PT、OT、看護師及び介護福祉などの国家資格保持者等）を対象として、ロコモの啓発、予防及びロコモ体操などを指導するロコモコーディネーター資格取得研修会を開催する。全国への拡充を図るため、年3回開催する。 全国の受講者が参加しやすいように、ウェブ形式での開催に変更することもある。</p>	令和5年	愛媛県	30人	全国のロコモに関する医療従事者	180人	9,940
		令和5年	未定	30人	全国のロコモに関する医療従事者	180人	
		令和5年度中	未定	30人	全国のロコモに関する医療従事者	180人	
	<p>【ロコモコーディネーターへの情報発信】 ロコモコーディネーター制度やロコモに関する医学的情報をホームページのロコモコーディネーター専用ページに掲載する。</p>	随時	法人事務所	10人	ロコモコーディネーター等	2,000人	0
	<p>【ロコモ予防の効果検証事業】 ロコモティブシンドローム対策における簡便で効果的な運動介入プログラムを開発する研究として、PT、OT、ロコモコーディネーターの有資格者の指導によるロコモ予防の効果に関して、全国4か所で検証する。 エビデンスに基づいたロコモ対策の簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築にあたり、重要な効果検証事業となる。 ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期等の変更する場合もある。</p>	令和5年	鹿児島県 鹿児島市 大阪府 富田林市 静岡県 浜松市 埼玉県 さいたま市	100人	一般市民	200人 (各50人)	4,000
	<p>【ロコモコーディネーター活動の表彰】 ロコモコーディネーターがこれまで取り組んだロコモ予防啓発活動を募集し、審査のうえ、優秀な活動を表彰する。</p>	随時	適所	20人	ロコモコーディネーター	10人	510

	<p>【ロコモコーディネーター全国大会の開催】 ロコモコーディネーター間の活動内容の報告等を通じ、有用であった様々な活動内容を共有することによって、今後の活動の具体的な参考とするため開催する。</p>	随時	適所	30人	ロコモコーディネーター及び所属施設管理者	150人	2,312
ロコモに関する情報の収集及び出版等情報提供事業	<p>【全国アンケート調査】 全国の整形外科医療機関を受診した市民を対象にロコモ・フレイルに関するアンケート調査を行い、地域の実態把握及び医学的情報の収集を行い、結果を論文化する。</p>	令和5年	法人事務所	20人	医療機関等	6,000件	880
	<p>【SLOC ニュース(仮称)の発行】 最新のロコモ・フレイルに関する情報や役員の寄稿によるニュースを創刊し、全国の整形外科医療機関へ配布する。</p>	令和5年	法人事務所	10人	医療機関等	6,000件	450
国内外のロコモに関連する団体との連絡提携及び調整	<p>【連絡会議の実施】 一般社団法人日本臨床整形外科学会、公益社団法人日本整形外科学会、日本運動器科学会及び日本老年医学会・日本サルコペニア・フレイル学会等との連絡会議を開催する。</p>	年2回	適所	10人	各学会のロコモ・フレイル担当者	50人	500